

# 第2回「多言語通訳ボランティア研修」

2月3日(日) イーグレひめじ 4階セミナー室 Aにおいて、ボランティアステップアップ学習会 第2回 多言語通訳ボランティア研修「通訳ボランティアとは(実践編)～通訳スキル、通訳者の役割と倫理～」を実施しました。在住外国人の数が増加する近年、生活に密着したコミュニティー通訳や災害時の通訳など、通訳ボランティアの役割はますます大きくなっています。今回の研修は、2018年10月21日(日)に兵庫県国際交流協会で行われた第1回目の基礎編を踏まえ、より発展させた内容となっていました。

講師は、第1回目同様、水野真木子先生をお迎えしました。水野先生は会議通訳や司法通訳の仕事を経て、現在は金城学院大学文学部英語英米文化学科教授として主に司法、医療などコミュニティー通訳分野の研究や通訳者養成に関わられています。

全国の在留外国人は平成30年6月の時点において、263万7,251人となり、前年末に比べ、7万5,402人(2.9%)増加し、過去最高となっています。そして、多くの方が日本で暮らす上で直面する数あるバリアの一つとしての言語の壁があります。これまでは通訳と言えば、会議やビジネスなどの特定の目的のために来日する外国人のためのものと捉えられていましたが、現在では暮らしの中で外国人のニーズに対応する「コミュニティー通訳」が必要とされています。当研修では、様々な場面での通訳者の課題や役割、倫理を水野先生の経験を交えて紹介いただきました。参加者の皆さんからは「コミュニティー通訳の第一線で活躍されている先生のお話を聞いて良かった。」「メモの取り方や訓練方法が分かり、ためになった。」などの声が多く寄せられました。

研修の終盤には、各通訳言語(英語、中国語、フランス語、ベトナム語)に分かれてロールプレイを行いました。実際によくある3事例(保育所申請、保護者面談、転入手続き)を基にしたシナリオで、外国人役と日本人役、通訳者の3役になり、実際の現場



を体験していただきました。「実際にやってみて改めて難しさを痛感した!」また、「同じ通訳言語の人との交流が持て、とても有意義な時間になりました。」と嬉しい声も聞かれました。

来年度も引き続き、ボランティアステップアップ学習会で様々な機会や出会いを提供していきたいと考えております。講師の水野先生、参加して下さった皆様、ありがとうございました!